

算数科

算数科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
【数学的活動】 日常の事象から見出した算数の問題を、具体物、図、数、式などを用いて解決し、結果を確かめること。	【数と計算】 計算の仕方を考えたり、成り立つ性質を見出して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<p>ア 日常生活の問題を、具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりすること。</p> <p>イ 数量の関係に着目し、計算の仕方考えること。</p>	<p>ア 具体物を活用した授業を行う。（ブロック・時計・箱・形タイルなど）</p> <p>イ 身近な事象を使った授業を行う。（動物・食べ物などと、ブロックを対応できるようにする） 東京ベーシック・ドリル1年により習熟を図る。</p>	年間を通して	
第2学年	<p>ア 日常生活に関連する文章問題で、具体物、図、式などを用いて問題を解決し、結果を確かめること。</p> <p>イ 数量の関係に着目し、計算の意味や考え方を見出すこと。</p>	<p>ア おはじき、ブロックや身の回りにある物を活用し、具体物、実体験を伴う授業を行う。</p> <p>イ 日常生活を想像しながら、計算等を身近に感じられるような授業を行う。 プログラミングの「あといくつで10になるゲーム」を用いて、数の構成を身に付けていく。東京ベーシック・ドリル2年や東京ベーシック・ドリル診断テストにより習熟を図る。アプリケーションの「ミライシード」を使用して学習の習熟を行う。</p>	年間を通して 9月	
第3学年	<p>ア 日常の事象から見出した算数の問題を、具体物、図、式などを用いて解決し、結果を確かめること。</p> <p>イ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見出すこと。また、数量を的確に表現したり、判断したりすること。</p>	<p>ア 問題で問われていることをつかみ、具体物や図、式を用いて、一人一人が考え、発表するなど児童同士の学び合う場を設定する。</p> <p>イ 買い物や料理など日常生活の経験と算数の学習を結び付け、数量体験の日常化を図る。</p> <p>イ 校舎内の様々な場所の長さを測ったり、1kmを実際に歩いたりと具体操作や体験的活動を大切にす。</p>	年間を通して	

第4学年	<p>ア 日常の事象から見出した算数の問題を、学習で身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を基に、思考力・判断力・表現力等を働かせ、目的に応じて数字を選び取ったり、多面的に捉えたりして、解決すること。</p> <p>イ 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見出して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。</p>	<p>ア 具体物として、教具やICT 機器を活用した授業を行う。 東京ベーシック・ドリル4年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p> <p>イ 児童の日常生活と関連付けて考えさせたり、体験的な活動を通して量感を養ったりして、算数の学習が身近に感じられる授業を行い、主体的に問題解決に取り組めるようにする。 東京ベーシック・ドリル4年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p>	年間を通して	
第5学年	<p>ア 表やグラフを用いて問題解決し、解決の過程や結果を多面的に捉え考察すること。</p> <p>イ 数の表し方の仕組みに着目し、下図の相対的な大きさを考慮し、計算などに有効に生かすこと。</p>	<p>ア 模型や身近にあるような物など、具体物を活用した授業を行う。 東京ベーシック・ドリル5年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p> <p>イ 表やグラフ等の具体的な活用例を示した授業を行う。 東京ベーシック・ドリル5年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p>	年間を通して	
第6学年	<p>ア 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常に生かすこと。</p> <p>イ 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えること。</p>	<p>ア ICT 機器や模型などの具体物を活用した授業を行う。 東京ベーシック・ドリル6年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p> <p>イ 他教科等と関連させ、データの活用を積極的に促す。 東京ベーシック・ドリル6年や東京ベーシック・ドリルを使用して習熟を図る。</p>	年間を通して	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた  
一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 1年：ロイロノート（教材配信、提出、回収）、ミライシード（朝学習など）【重点：個別・協働】
- 2年：ロイロノート（教材配信、児童の考えの提出、回収、共有）、ミライシード（習熟を深めるための朝学習や課題が早く終わった際の取組）【重点：個別・協働】
- 3年：ロイロノート（教材配信、提出・回収、考えの発表、児童同士の考えの共有、振り返りの活用）、ミライシード（朝学習や学習内容の定着を図るための復習）、ビスケット（プログラミング学習）【重点：個別・協働】
- 4年：ロイロノート（教材配信、児童の考えの共有、提出、回収）、ミライシード（個人の理解度に合わせ、既習の内容についての復習）ビスケット（プログラミング学習）【重点：個別・協働】
- 5年：ロイロノートによる児童の考えの共有発信、教材配信、提出、回収、ミライシード（習熟）、インターネット調べ学習、プログル（プログラミング学習）【重点：個別・協働】
- 6年：ロイロノート（教材配信、児童の考えの共有、提出、回収）、ミライシード（習熟）、インターネット調べ学習、プログル（プログラミング学習）【重点：個別・協働】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年：ユニバーサルデザインを意識した板書作成、ICTを活用したノート指導
- 2年：ユニバーサルデザインを意識した板書作成、ICTやます目黒板を使用したノート指導、授業のめあての掲示
- 3年：ユニバーサルデザインを意識した板書作成  
ICTを活用したノート指導  
考えの発表や自分の言葉でのまとめなどによる「主体的に学習に取り組む態度」の育成
- 4年：毎時間めあてで始まりまとめで終わる板書、授業のユニバーサルデザイン化  
単元の目当てが達成できたかどうか確かめる演習問題の実施  
自分の考えを発表したり伝え合ったりする活動
- 5年：単元を見通した教材研究や主体的、意欲的な学習に向けた教材研究  
問題解決が自分のできるような発問や机間指導の工夫
- 6年：単元を見通した教材研究や主体的、意欲的な学習に向けた教材研究  
単元の目当てが達成できたかどうか確かめる演習問題の実施  
自分の考えを発表したり伝え合ったりする活動